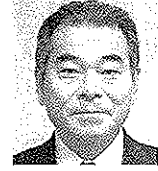


けんこう処方箋

北海道柔道整復師会会長 萩原 正和



ほっかいどう

水曜生きる

木曜よむ語る

金曜楽しむ

土曜考える

火曜学ぶ

「手当て」する整骨院、選ぶ目を

コンビニやドラッグストアの激戦化で店舗があちこちに並んでいる。同様に、整骨院が急激に増加しているのを感じないだろうか。これは一つの柱が倒れたことによる、ドミノ倒しのような状況が、業界に巻き起こったことに起因する。

事の始まりは1998年の柔道整復師養成校の規制緩和だ。これにより全国14校だった養成校が大学を含め107校へと増加した。

整骨院を開業できる柔道整復師になるには、3年以上学校に通った後、国家資格に合格することが必須だ。だが、学校増加に伴って、柔道整復師の免許取得者が増えたことで就職先が見つからず、修業せずに開



イラスト・佐藤博美

業するといったケースが増えた。かつては資格取得後に5〜7年ほどの臨床経験を積んで人間性を培い、勤務先の先生の許可を得て開業するのが常であったが、資格

が増えたためにそうした例も崩れている。臨床経験が少ないと治療の質も低くなる。業務知識が乏しく、保険取り扱いの業務を軽視し、水増し請求など不正を引き起こす人さ

え出てきた。一部の人が引き起こす事態が、波紋のごとく業界全体にマイナス効果を生んだ。

では、数多くある中でどのような整骨院を選べば安心して治療が受けられるのか。インターネットによる広告内容には規制が無いとはいえ医師法に反する内容が多くみられる。ネットの評価ではなく、地元での評判の良さや社会貢献を基準に整骨院を選ぶのがよい。

近所にある整骨院の入り口を見て欲しい。北海道警察や防犯協会との連携を示す「防犯ステーションSSO」のステッカーが貼ってあれば、地域貢献に取り組み整骨院を示す。

このような整骨院は業務や技術に関する講習会や学会に定期的に出席し、質の向上に努めている。一方、地域貢献度の低い整骨院は利益主義の傾向があり、違法な内容のチラシや広告、看板、のぼり旗などが多く感じられる。

痛みを抱えた生活は身体的にも精神的にも苦痛と不快を伴う。整骨院は骨折、脱臼、捻挫、打撲など身近なケガを治療する。我々の手技療法は手を用いて患者さんの身体に種々の刺激を加え、生体のもつ自然治癒力を活性化させ損傷の早期回復を図る、いわゆる「手当て」をする医療行為だ。

一人でも多くの患者さんとその技術を用いて救う。それが医療人である柔道整復師としてのゆるぎない柱であり、喜びとなっている。

(萩原さんのコラムは今回が最終回です)